基本情報								
施設	3名							
製品	品区分							
高さ	<u> </u>							
設置	!年(使用年数)							
主村	注規格							
主柱材質			i					
主柱総本数								
ネッ	/ト規格							
その	その他付属品				撮影日			
点検結果								
No.		検査	<b>上</b> 項目		危険度	数量	評価	
1	設置年数が35年を超えている				D			
2	構造計算上成り立たない又は構造上成り立たない				D			
3	主柱の傾き				С			
4	④ コンクリート柱のひび割れ(クラック)							
⑤ コンクリート柱のはがれ(爆裂・暴露)					D			
⑥ 鋼管柱の腐食(主柱の根元が腐食して穴が開いている)					D			
7	⑦ 鋼管柱の腐食(主柱の根元がさびている)							
⑧ 鋼管柱の柱脚が土(又は防食材)に覆われて確認できない					В			
⑨ ジョイントビームが必要な個所に設置されていない					В			
⑩ ジョイントビームの破損又は傾き					В			
⑪ 効きブレスのたるみ					В			
② その他のワイヤーのたるみ					А			
③ ネット・金網の破損					А			
<u>14</u> )	④ 金具の落下(欠損)							
<ul><li>⑤ バンド金具の破損</li></ul>					А			
<u>16</u> )								
17)	昇降用ウインチ(又は可動部)が動かない				D			
(18)	⑱ 嵩上げを行っている							
⑲ 追加で防砂ネット(遮光、垂れ幕等)を設置している					D			
20								
					総合評価		ĺ	
A 機能的な問題 A 修繕の必要なし								
B 管理上で対応できる問題 B 重要な問題はないが経過観察が必要								

D 里女は问題はないが、社型観祭が必女

C 1年間隔での経過観察が必要な状態 C 重要な問題はないが構造及び機能的に問題が

点在しているので改修時に対策を取る必要性がある

D 早急な対処が必要な状態

D 重大な事故につながる恐れがある。何らかの対策が 必要である

※基本情報の「確」は確定。「想」は想定を表す。

※数量が20か所を超える場合は「F」表示とする。

※⑤⑥は抜粋検査数(検査した数/全数)、⑯~⑳は指摘されている現象の有無を明記しその他は全数検査とする。